

診療科の概要

当科では腎疾患の早期診断に積極的に取り組み、早期腎炎から慢性腎臓病、末期腎不全・透析管理に至るまでの総合的治療・管理を行っています。

また当院は高度救命センターを有する急性期病院でもあることから、急性血液浄化療法を必要とする患者様に対しても、院内各科と連携をとりながら集学的治療を行っています。

診療内容

腎炎・ネフローゼ

腎炎・ネフローゼ症候群が疑われる患者様には積極的に腎生検を施行し、臨床所見と病理組織学的診断を合わせて治療方針を決定しています。必要があると判断された場合には、ステロイド剤や免疫抑制剤、血漿交換療法等による治療を行います。

また慢性腎炎の中でもっとも多いIgA腎症では、腎生検の結果をふまえ「扁桃腺摘出術とステロイド療法」を施行し、血尿・蛋白尿の減少や消失というような良好な治療成績をおさめています。

慢性腎臓病（CKD）

慢性腎臓病の診療は主に進行の抑制に重点を置いており、薬物療法・食事療法に積極的に取り組んでいます。さらに腎臓病に合併する心血管疾患の予防や治療を行っています。慢性腎臓病を初めて指摘された方や自宅での管理に不安をお持ちの患者様には、教育・治療のための入院を勧めています。腎機能悪化を抑制し、生命予後を改善する効果のある薬も増えてきています。投薬管理と生活指導を組み合わせることで腎機能が少しでも長く温存でき透析導入を抑制できるよう日々努力しています。

末期腎不全

治療を行っても残念ながら末期腎不全に近付いてきた患者様には、腎代替療法が必要となります。腎代替療法には血液透析、腹膜透析、腎移植があり、当院では血液透析と腹膜透析を実施しています。患者様のご希望やQOLを十分に考慮したうえで治療法を選択していただき、準備から導入までを行っています。

透析センター

当院透析センターは慢性腎不全の患者様の血液透析療法、腹膜透析療法を中心に、神経疾患や自己免疫疾患等のために血漿交換療法や免疫吸着療法等あらゆる血液浄化を必要とする患者様に対して治療を行っております。

現在月水金、火木土いずれも午前(9:00~14:00)、午後(14:00~19:00)の2クールで行っております。

また当院は当地区のセンター病院の1つであることから、24時間いつでも緊急時の血液浄化に対応できるように体制を整えています。

診療科の概要

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
こばやし ひろのり 小林 広学	部長	専門分野： 透析患者に対する循環器合併症管理・治療、バスキュラーアクセス（シャント）不全に対するバルーン治療、心不全・電解質・貧血管理、腹膜透析管理、腹膜透析カテーテルトラブルに対する管理・治療 医学博士 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本循環器学会専門医 日本医師会認定産業医 日本透析医学会専門医・指導医 日本腎臓学会腎臓専門医、指導医 旭川医科大学臨床指導教授	平成11年
みやもり だいすけ 宮森 大輔	医師	専門分野： 腎臓内科認定医 腎臓内科専門医	平成27年
まつだ まさひろ 松田 正大	医師	専門分野： 腎臓内科	平成29年
おきむら あゆむ 長村 一步	医師		平成31年

腎臓内科 診療時間 (初診：8：00～11：00)

月	火	水	木	金
宮森	小林	長村	小林	松田

透析室

	月	火	水	木	金
午前：PD外来			小林		
午後：HD外来	小林	小林	小林	小林/宮森	

診療部長よりひとこと

広い道北地域においても腎臓内科を標榜している施設は少ないのが現状です。専門的治療知識のアップデートを日々努力し、地域連携施設と良好な関係を築きながらレベルの高い腎臓病医療を地域住民の皆様にご提供できますよう、頑張っていきたいと思っております。